



社会科地理的分野 学習指導案

指導教諭 先生
 実習生
 平成 25 年 10 月 29 日 (火) 第 6 校時
 学校名
 対象 2 年 1 組 場所 教室

1 単元名 第 2 編 日本のさまざまな地域

第 3 章 日本の諸地域 5 関東地方へ他地域との結びつきを中心とした考察(全 6 時間)

使用教材 『中学社会 地理 地域に学ぶ』(教育出版)

2 単元について

○単元観

この単元は、学習指導要領地理的分野「(2)日本のさまざまな地域」に位置づけられており、本単元は「ウ 日本の諸地域」に分類され、関東地方は「(半)他地域との結びつきを中核とした考察」に当たる。関東地方を日本に中心的な地域とし、特に東京への集中を軸に都市の成り立ちと人口の集中が起きた要因を考えるとともに、周りの地域の衰退の要因に都市化が一因にあることを考えさせる綱目である。

中項目の狙いとして高速鉄道網の発達と他地域との結びつきの変化や鉄道の開通に伴う通勤圏の変化などの諸事象と関連付けて追及することあり、交通網の発達が都市化の一因にあることもとらえさせたい。また身近な大阪大都市圏とも関連し、理解を促すことが重要である。

○生徒観

この学級は、元気もあり、社会科に対して興味や関心を抱いている生徒が多いのだが、暗記科目として認知しているため、なかなか思考にまで至っていない。しかし発問に対する回答はよいため、2 人

○指導観

知識はあるのだが、社会科に対しては、暗記科目という認識がある。そのため本単元では、社会科を身近なものとするため、生徒に身近な大阪との関連性を重視しながら見ていく。また、発問を重視した内容とし、生徒が退屈しないように心掛けたい。東京を身近に感じてもらうため、実物教材を使用する。

3 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用 の技能	社会的事象についての 知識・理解
都市化の進展に人口の集中が一因にあり、同時に過疎化の原因になっていることに関心がもてたか	関東地方に人やモノ、お金が集積することに情報産業の発達や交通網の発達に関連していることを考えられたか	教科書の写真や日常の製品を見て、海外からの往來の多さや大企業が東京に集中していることを見ることが出来たか	都市化の結果ドーナツ化現象が発生していることや過密問題や過疎問題が起こっていることを理解できたか

(4) 本時の展開

	指導項目	学習活動		指導上の留意点	時間
		教師の働きかけ	生徒の学習活動		
導入	前回の復習	「日本一流域面積が広い川は何という川ですか？」 「火山灰が降り積もってできた地層を何と言いますか？」 「冬に北西に吹く季節風を何と言いますか？」	利根川 関東ローム層 からっ風 (上州のからっ風)	・前回のノート を復習のため少し書く	5 分
	首都としての機能	「2020年のオリンピックの開催地はどこでしょう？」 「東京へ今から行くとしたら、どんな交通手段がありますか？」 「国会議事堂は何をすることで場所ですか？」 教科書を読ませる	東京 ・新幹線 ・飛行機 ・高速バス、車 板書を写す 選挙で選ばれた人が集まって話し合う場所 板書を写す 教科書を読む	・板書しながら説明を行う。 ・教科書を読んでいる際に机間巡視を行うと同時に生徒の読み間違いに気を付ける。	40 分
	副都心の発達	教科書を読ませる ノートを写す 「なぜ副都心ができると思いますか？」	教科書を読む ノートを書く ・通勤で利用するから ・買い物をしに行くから ・仕事を行うため	・生徒から発問の回答が薄い場合は3択クイズにするなど考慮する。	
都市の人口減少	教科書を読ませる 「どんな地域で地価が高くなるのでしょうか？」 「なぜ、昼間に人口が集中するのでしょうか？」	教科書を読む ・人が集まってくる ・近くに観光地がある ・会社へ仕事に行くため ・買い物を行うため	・板書を写すスピードに考慮する。		
整理	今日の復習 次回予告	学習を振り返るため、ノートに感想を書かせる 次の時間の予告を行う	感想をノートに書く 次の時間の予告を聞く	・時間があれば行う。	5 分